

令和7年度

事業報告書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

公益社団法人日本装削蹄協会

令和7年度 事業報告

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

本会は、馬及び牛のフットケアを推進することにより、健康で能力を十分に発揮できる馬や牛が馬スポーツ及び畜産において利活用され、もって馬スポーツを通じた国民の心身の健全な発達及び国民への畜産物の安定供給に寄与することを目的とし、関係団体の協力を得て、次の事業を実施した。

I 事業報告

1 フットケアの普及啓発に関する事業

「装蹄」

(1) 馬のフットケア・ベーシックセミナー（公益目的事業）

馬愛好者や飼養者が日常の馬の管理の中で、認定装蹄師と情報交換ができることを目的に、馬の肢蹄の基礎知識に関するセミナーを令和8年3月7日に本会装蹄教育センターで開催し、8名の参加者があった。

(2) オープンキャンパス（公益目的事業）

入講希望者や一般参加者に対し、装蹄師の仕事内容および装蹄教育センターの認定講習会ならびに施設等を直接体験してもらうために、ホームページ等で告知の上、令和7年5月11日、5月18日、6月8日、6月21日、7月5日、12月14日の6回にわたって開催し、計59名の参加者があった。

「牛削蹄」

(1) 牛削蹄技術の普及向上促進推進事業【JRA 畜産振興事業】（公益目的事業）

1) 牛削蹄技術普及教材作成

牛削蹄に関する動画をYouTubeの公益社団法人 日本装削蹄協会 認定研修部チャンネルにのべ6本公開した。

なお、令和7年のチャンネル登録者数は430名であった。

2) 認定牛削蹄師スキルアップ講習会

①令和7年8月29日 山形県 受講者数27名

講義：JA全農山形最上家畜市場

②令和7年9月12日 長崎県 受講者数46名

講義：平戸口中央家畜市場

③令和7年9月30日 栃木県 受講者数18名

講義：宇都宮大学附属農場

「共通」

(1) 機関誌「蹄」の発行（公益目的事業）

本会の事業内容やフットケアに関する最新情報を提供するため、次のとおり発

行し正会員や関係団体等に配布した。

- 1) 290号 令和7年 4月発行
- 2) 291号 令和7年 7月発行
- 3) 292号 令和7年10月発行
- 4) 293号 令和8年 1月発行

(2) ホームページの運営管理（公益目的事業）

本会事業に関する情報やフットケア関連知識、講習会の開催案内など、正会員等に幅広く情報発信を行った。

2 認定装蹄師及び認定牛削蹄師の養成に関する事業

「装蹄」

(1) 2級認定装蹄師養成講習会及び認定試験（公益目的事業）

第31期生16名の講習会については、令和7年4月2日から令和8年2月19日まで講習会を実施し、令和7年2月20日に16名に修了証を授与した。

認定試験を前期（令和7年9月5日）・後期（令和8年2月6日～7日）に分けて実施し、各16名が受験し、全員が合格した。

第32期生の入講選考試験を令和7年9月6日・7日に実施し、20名が合格し入講手続きを行った。

(2) 1級認定装蹄師資格者昇級研修会及び昇級試験（公益目的事業）

令和8年1月9日～11日に本会装蹄教育センターで1級昇級研修会を開催し、15名が受講した。研修修了者を対象に1月12日・13日に同所で昇級試験を実施し、18名が受験し、13名が昇級試験に合格した。

(3) 指導級認定装蹄師資格者昇級研修会及び昇級試験（公益目的事業）

令和8年2月23日・24日に本会装蹄教育センターで指導級昇級研修会を開催し、4名が受講した。研修修了者を対象に2月26日に同所で昇級試験を実施し、4名が受験し、3名が昇級試験に合格した。

(4) 認定試験委員会（装蹄部会）（公益目的事業）

認定装蹄師の認定試験及び昇級試験の問題作成と試験の合否判定のため、次のとおり委員会を開催した。

- 第1回 令和7年 7月 7日
- 第2回 令和7年 9月16日
- 第3回 令和7年12月22日
- 第4回 令和8年 2月12日
- 第5回 令和8年 3月 9日

「牛削蹄」

- (1) 2級認定牛削蹄師養成講習会（新規牛削蹄師養成講習会）【JRA 畜産振興事業】
及び2級認定牛削蹄師認定試験（公益目的事業）

学科（牛の肢蹄ならびに牛削蹄に関する専門科目）及び削蹄実技について次のとおり9ヶ所で開催した。

	開催日	開催場所	対象地区	受験者	合格者
①	7月23日～24日	宮崎県立農業大学校（児湯郡）	九州	33名	31名
②	9月3日～4日	ホクレン訓子府実証農場（北見市）	北海道	33名	33名
③	10月1日～2日	酪農学園大学（江別市）	北海道	20名	20名
④	11月19日～20日	ウッディホールこだま【学科】（由利本荘市） 鳥川放牧場【実技】（由利本荘市）	東北	17名	17名
⑤	12月2日～4日	鹿児島県立農業大学校【学科】（日置市） 鹿児島県家畜市場【実技】（鹿児島市）	九州 沖縄	49名	48名
⑥	12月9日～10日	中国四国酪農大学校（真庭市）	中国 四国	23名	23名
⑦	令和8年 1月21日～1月22日	鯉淵学園農業栄養専門学校 笠間瑞穂株式会社（水戸市）	関東	7名	7名
			計	182名	179名

（2）1級認定牛削蹄師資格者昇級研修会及び昇級試験（公益目的事業）

令和8年1月21日～23日

【学科】鯉淵学園農業栄養専門学校・笠間瑞穂株式会社（水戸市）

【実技】同上

受講者：6名、合格者6名

（3）指導級認定牛削蹄師資格者昇級研修会及び昇級試験（公益目的事業）

令和8年2月3日～5日

【学科】NOSAI かごしま出水事務所（鹿児島県出水市）

【実技】鹿児島いずみ農業協同組合繁殖実験センター（鹿児島県長島町）
有限会社つだ牧場（熊本県大津町）

受講者：17名、合格者14名

（4）認定試験委員会（牛削蹄部会）（公益目的事業）

令和6年度2級認定牛削蹄師認定試験成績の報告および令和7年度1級および指導級認定牛削蹄師資格昇級試験問題（案）の作成、令和7年度1級認定牛削蹄師資格昇級試験の合否判定のため、次のとおり委員会を開催した。

① 令和7年度第1回認定試験委員会

令和7年5月20日 JRA 新橋分館5階会議室

② 令和7年度第2回認定試験委員会

令和7年3月4日～16日 メール会議

3 資格認定に関する事業（公益目的事業）

認定資格審査会を令和7年6月6日に開催し、認定資格申請者について諮問した。
答申を得た申請者について新たな認定を行うとともに、5年毎の認定更新も実施した。

(単位：名)

分 項 目	装 蹄 師				牛 削 蹄 師				合 計
	2 級	1 級	指導級	小計	2 級	1 級	指導級	小計	
新規	16	7	6	29	166	16	0	182	211
更新	14	26	26	66	229	69	22	320	386
計	30	33	32	95	395	85	22	502	597

4 認定装蹄師及び認定牛削蹄師の技術の向上に関する事業

「認定装蹄師」

(1) 馬装蹄技術向上研究会【NAR 畜産振興補助事業】(公益目的事業)

認定装蹄師及び馬関係者を対象として、装蹄技術と最新情報および社会的な労働環境の変化への対応についての研究会を、令和7年10月25日に近畿地区(園田競馬場)および令和8年2月17日に北海道地区(帯広競馬場)の2カ所で実施した。

(2) 第76回全国装蹄競技大会(農林水産祭参加)(公益目的事業)

令和7年10月20日・21日に装蹄教育センターにおいて農林水産省及び関係諸団体の後援を得て、次のとおり競技会を開催した。

1) 場 所 装蹄教育センター及びJRA 宇都宮管理事務所事務棟

2) 出場選手 37名

3) 最優秀賞 池田 駿一郎氏(JRA 装蹄師会)

なお、予選会として地方競技大会・研修会が次のとおり開催された。

① 令和7年3月24日：北海道日高装蹄師会 出場選手16名

② 令和7年4月 7日：滋賀県装蹄師会 出場選手16名

③ 令和7年4月21日：日本中央競馬装蹄師会 出場選手 8名

④ 令和7年5月12日：JRA装蹄師会 出場選手16名

⑤ 令和7年5月19日：西日本装蹄師会・笠松競馬装蹄師会 出場選手11名

⑥ 令和7年5月27日：岩手競馬装蹄技術向上研修会 出場選手 5名

⑦ 令和7年6月14日：クレイン・関東装蹄師会 出場選手20名

⑧ 令和7年6月23日：南関東装蹄師会 出場選手15名

(3) 外国人装蹄師招聘事業【日本中央競馬会弘済会助成事業】(公益目的事業)

26年のAFA装蹄競技大会の審査員に選ばれているダニエル・ジョーンズ装蹄師を招聘し、令和7年11月15日・16日・17日に装蹄教育センターで本会講習生及び本会構成員を対象にハンズオンクリニックを実施した。

(米国装蹄師会(AFA)認定装蹄師であり、AFA競技大会やWCB(World Championship Blacksmiths)に出場し、2008年には年間最優秀ストライカー選手

に選出される)

(4) 国際装蹄技術交流事業【NAR 畜産振興補助事業】(公益目的事業)

令和8年3月15日～3月22日、アーカンソー州リトルロックで開催された米国装蹄師会コンベンションの米国装蹄競技大会に土屋智1級認定装蹄師と池田駿一郎1級認定装蹄師を派遣した。また、同大会に合わせて米国の装蹄事情の調査と装蹄研修のため本会職員を派遣した。

(5) 装蹄競技会及び研修会等への協力(公益目的事業)

正会員や関係業界等からの依頼により、装蹄師の技術の向上を図るとともに、フットケアの普及に資するため、次のとおり審査委員や講師等として本会役職員を派遣した。

① 日本中央競馬装蹄師会主催

「装蹄競技大会」(審査員) 令和7年4月21日

② 西日本装蹄師会・笠松競馬装蹄師会主催

「合同競技会・研修会」(審査員) 令和7年5月19日

③ 岩手競馬装蹄師会主催

「装蹄競技大会」(審査員) 令和7年5月27日

④ (公社)日本馬事協会主催

「馬事技術者養成講習会」(講師) 令和7年6月6日

⑤ 関東・クレイン装蹄師会主催

「合同装蹄競技大会」(審査員) 令和7年6月14日

「装蹄技術向上研究会」(講師) 令和7年6月15日

⑥ 南関東装蹄師会主催

「装蹄競技大会」(審査員) 令和7年6月23日

⑦ 関東装蹄師会主催

「馬学講座」(講師) 令和8年1月24日

⑧ (公社)日本馬事協会主催

「令和7年度削蹄技術講習会」(講師) 令和8年1月28日

⑨ 地方競馬全国協会主催

「騎手候補生への講義」(講師) 令和8年2月26日

(6) 技術検討委員会(装蹄部会)(公益目的事業)

装蹄技術の向上のために、全国大会等の開催に関する具体的な内容等を検討する委員会を下記のとおり開催した。

第1回 令和7年12月15日

「認定牛削蹄師」

(1) 第66回全国牛削蹄競技大会(農林水産祭参加)【JRA 畜産振興事業】(公益目的事業)

令和7年11月11日に、農林水産省及び関係諸団体の後援を得て、次のとおり開催した。

- 1) 場 所 笠間瑞穂株式会社 鯉淵分場（茨城県水戸市）
- 2) 出場選手 24名
- 3) 最優秀賞 高野 智徳（福島県装蹄師会）

(2) 牛削蹄競技会及び研修会への協力（公益目的事業）

牛削蹄技術の維持・向上を図るため、8～9月の間に全国5地区で地区牛削蹄師会と共催によりブロック予選会を開催した。

- ① 8月28日：東北地区（山形県新庄市） 出場選手18名
- ② 9月1～2日：北海道地区（北海道江別市） 出場選手23名
- ③ 9月12日：九州・沖縄地区（長崎県平戸市） 出場選手32名
- ④ 9月24日：中国・四国地区（岡山県真庭市） 出場選手9名
- ⑤ 9月29日：関東・甲信越地区（栃木県真岡市） 出場選手14名

(3) 技術検討委員会（牛削蹄部会）（公益目的事業）

第1回委員会では第66回全国牛削蹄競技大会の開催要項および審査委員の選考、牛削蹄判断用紙の改変等について、第2回委員会では第66回全国牛削蹄競技大会の反省事項および第67回全国牛削蹄競技大会案等について検討した。

第1回 令和7年 4月15日 JRA 新橋分館5階会議室

第2回 令和7年12月19日 JRA 新橋分館4階会議室

II 事務報告

1 会議に関する事項

(1) 理事会の開催

1) 第1回理事会

令和7年5月26日にJRA新橋分館5階会議室において開催した。

- ① 役員出席数 理事総数14名中13名
監事総数 2名中 2名

② 報告事項

- (1) 職務の執行状況報告について
- (2) 技術検討委員会装蹄部会の開催報告について
- (3) 技術検討委員会牛削蹄部会の開催報告について

③ 決議事項

- 第1号議案 令和6年度事業報告に関する件
- 第2号議案 令和6年度決算報告に関する件
- 第3号議案 令和7年度定時総会の議題に関する件
- 第4号議案 令和7年度役員の報酬等の総額に関する件
- 第5号議案 任期満了に伴う役員選任に関する件
- 第6号議案 任期満了に伴う認定資格審査会委員の委嘱に関する件
- 第7号議案 任期満了に伴う専門委員会委員の委嘱に関する件

第8号議案 全国装蹄競技大会・全国牛削蹄競技大会に関する件

第9号議案 公益社団法人日本装蹄協会職員給与規程の一部改正に関する件

第10号議案 公益社団法人日本装蹄協会職員就業規則および職員退職手当支給規程の一部改正に関する件

第11号議案 全国大会優勝者に対するインセンティブに関する件

2) 第2回理事会

令和7年6月30日にJRAウインズ浅草パークホールにおいて開催した。

① 役員出席数 理事総数 14名中 13名

監事総数 2名中 2名

② 決議事項

第1号議案 公益社団法人日本装蹄協会会長、副会長および常務理事の選定に関する件

第2号議案 任期満了に伴う認定資格審査会委員の委嘱に関する件

3) 第3回理事会

令和7年10月2日に書面による決議を行った。

① 決議事項

第1号議案 公益社団法人日本装蹄協会寄附金等取扱規程の制定に関する件

4) 第4回理事会

令和8年2月12日に書面による決議を行った。

② 決議事項

第1号議案 退任に伴う役員（理事）候補者選任に関する件

第2号議案 令和7年度臨時総会開催（決議の省略による）に関する件

5) 第5回理事会

令和8年3月16日にJRA新橋分館5階会議室において開催した。

③ 役員出席数 理事総数 14名中 14名

監事総数 2名中 2名

② 報告事項

(1) 職務の執行状況報告について

(2) 令和8年度装蹄師認定講習会入講試験状況について

(3) 令和7年度第2回技術検討委員会装蹄部会の開催報告について

(4) 第66回全国牛削蹄競技大会審査委員及び技術検討委員会委員牛削蹄部会合同会議の開催報告について

③ 決議事項

第1号議案 公益社団法人日本装蹄協会常務理事の選定に関する件

第2号議案 令和8年度事業計画に関する件

第3号議案 令和8年度収支予算に関する件

第4号議案 令和8年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類に関する件

第5号議案 令和8年度入会金及び会費に関する件

- 第6号議案 令和8年度定時総会招集に関する件
- 第7号議案 令和9年度装蹄師認定講習会受講生募集要項（骨子案）に関する件
- 第8号議案 賛助会員（団体）の入会に関する件
- 第9号議案 事務局長の任免に関する件
- 第10号議案 公益社団法人日本装蹄協会職員給与規程の一部改正に関する件

（2）総会の開催

1）令和7年度定時総会

令和7年6月30日にJRAウインズ浅草パークホールにおいて開催した。

- ① 正会員数 48団体
出席数 48団体（うち書面による議決権行使21団体）
- ② 報告事項
 - （1）令和6年度事業報告について
 - （2）令和7年度事業計画について
 - （3）令和7年度収支予算について
 - （4）令和7年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類について
 - （5）全国大会優勝者に対するインセンティブについて

③ 決議事項

第1号議案 令和6年度決算報告に関する件
（貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録）

第2号議案 令和7年度入会金及び会費に関する件

第3号議案 令和7年度役員の報酬等の総額に関する件

第4号議案 任期満了に伴う役員選任に関する件

- ③ 令和7年度公益社団法人日本装蹄協会表彰規程に基づく表彰について
表彰者選考審査委員会で選定された1名に対し感謝状、5名に対し功労賞、1名に対し模範賞が授与された。

2）令和7年度臨時総会

令和8年2月28日に書面による決議を行った。

第1号議案 退任に伴う役員（理事）候補者選任に関する件

（3）監事監査

令和8年5月21日に本部事務所会議室において「令和78年度事業報告及び決算報告」の監査を行った。

（4）コンプライアンス監査（日本中央競馬会）

令和7年9月26日に日本装蹄協会本部において日本中央競馬会コンプライアンス推進室の担当者による監査を受けた。監査についてはコンプライアンス

面談を中心に実施された

2 正会員及び賛助会員に関する事項（令和7年3月31日現在）

- (1) 正会員数 48団体
(2) 賛助会員数 団体 15団体
個人 2名

3 役職員に関する事項（令和7年3月31日現在）

(1) 役員

会長（常勤）	井上 眞	副会長（非常勤）	阿部 優
常務理事（常勤）	大村 一		
理事（非常勤）	青木 修	理事（非常勤）	秋山 昌範
同	片山 正幸	同	栗田 利一
同	佐伯 峰雄	同	額田 紀雄
同	藤平 克彦	同	宮瀬 久志
同	森 英幸	同	門別 尚省
同	山田 正男		
監事（非常勤）	間 弘子	監事（非常勤）	金川 祐之

(2) 役職員数

理事	14名（常勤2名、非常勤12名）
監事	2名（非常勤）
顧問	1名（非常勤）
職員	17名（本部7名、装蹄教育センター10名）

4 助成金、補助金に関する事項

(1) 日本中央競馬会助成金の交付

日本中央競馬会から、次のとおり助成金の交付を受けた。

- | | |
|-------------|-------------|
| ① 全国装蹄競技大会費 | ② 業界振興費 |
| ③ 研修認定費 | ④ 教育センター運営費 |
| ⑤ 教育推進費 | ⑥ 事業管理費 |

(2) 地方競馬全国協会補助金の交付

地方競馬全国協会から馬の装蹄技術講習及び装蹄師の養成事業に対する補助金の交付を受けた。

(3) JRA畜産振興事業助成金の交付

公益財団法人全国競馬・畜産振興会から牛削蹄技術の普及向上促進推進事業に対する助成金の交付を受けた。

(4) 一般財団法人日本中央競馬会弘済会助成金の交付

一般財団法人日本中央競馬会弘済会から「外国人装蹄師招聘」事業に対する助成金の交付を受けた。

別添 法人の運営体制の充実を図るための取組

本協会は、公益法人として社会的責任を果たすため、自律的なガバナンスの充実および運営の透明性向上に向けて、令和7事業年度において以下の自主的な取組を実施した。

(1) 期間運営の充実および外部役員の活用

① 経営の透明性および外部役員の活用

客観的かつ専門的な視点を法人運営に反映させるため、理事及び監事に本協会の会員ではない外部有識者を選任している。

② 理事会の活性化

理事会を計5回開催し、第1回理事会（令和7年5月26日）においては、前事業年度の事業報告及び決算報告等を決定し、第5回理事会（令和8年3月16日）においては令和8年度事業計画および収支予算の決定を行った。

③ 適切な監査の実施

監事は全ての理事会に出席したほか、業務及び財産状況の監査を計画的に実施し、監査報告書を作成した。

また、公認会計士・税理士により会計・税務の指導助言を受けている。

(2) コンプライアンス・内部統制体制の整備

① 規程の整備と周知

法令遵守及び情報セキュリティ強化のため「個人情報保護規定」を運用している。

また、本年度は役職員を対象にコンプライアンスおよびハラスメント防止に関するコンプライアンス研修（令和7年12月12日）を実施し、規範意識の向上に努めた。

② 通報窓口の運用

法人内部からの法令違反や不正行為の早期発見を目的とし、日本中央競馬会が設置する外部の弁護士事務所を通報先とした関連団体共通通報窓口を活用して、適切に運用した。